

エコライフDAY埼玉 2020 冬

～ストップ！地球温暖化～



1 エコライフDAY（冬）成果 ー令和2年度ー

参加した人数 **11,347** 人

削減した二酸化炭素量 約 **10.55** トン

※1人当たりの削減量は約929gとなります！

ブナの木：約959本
(スギの木：約753本)
の一年間に吸収する
二酸化炭素量に相当

- ※1年間に吸収する二酸化炭素量は、ブナの木1本が約11kg（独立行政法人森林総合研究所調べ）、スギの木1本が約14kg（林野庁HP）として換算しています。
- ※エコライフDAYの回収・集計作業は、富士見市環境施策推進市民会議推進員の協力を得て行っています。

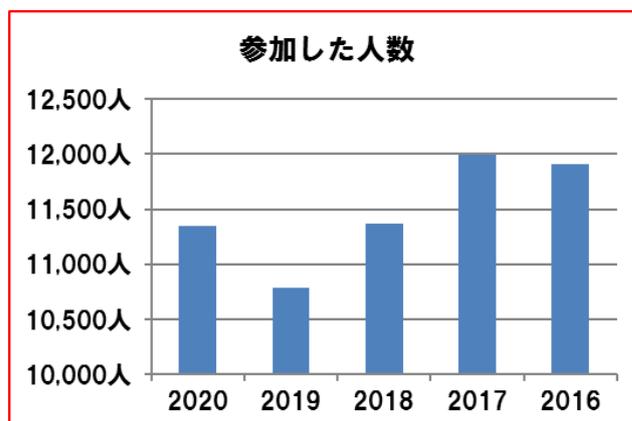
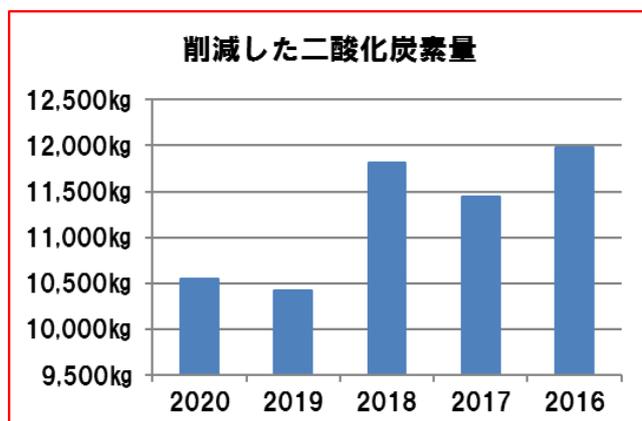
2 集計結果

区 分	参加した人数	削減した二酸化炭素量
小 学 校	7,835人	6,708,783g
中 学 校	2,541人	2,871,951g
特 別 支 援 学 校	32人	29,495g
富士見市環境施策推進会議	194人	208,381g
市 役 所	745人	726,441g
合 計	11,347人	10,545,051g

※ご家族や教職員の方々も人数に含まれています。

3 エコライフDAY（冬）の推移

実施年	参加した人数	削減した二酸化炭素量	一人当たり削減量
2020	11,347人	10,545,051g	929g
2019	10,787人	10,420,488g	966g
2018	11,365人	11,812,597g	1,039g
2017	11,988人	11,444,126g	955g
2016	11,908人	11,983,111g	1,006g



4 参加者の感想・工夫点など

小学生

- ・冬は二酸化炭素がたくさん出るので、エアコンをたくさん使うのではなく、ももこの洋服を着たりして、エアコンを使わないように寒さ対策をします。
- ・寒い冬でも、こんなに二酸化炭素が減らせるとは思っていませんでした。これからは普段の生活で見直せるところを探していきたいと思います。
- ・節約するのは難しいけど、地球のためになっていると思うと楽しかった。

中学生

- ・「減らす」「ずらす」「切り替える」の3つの方法を意識して節電しようと思った。
- ・新型コロナの影響で家にこもりがちなので、エコライフを通して家での取組みを見直すことができました。
- ・夏のエコライフより、エネルギー消費量が多くなることが分かりました。なので、この取組みを生かして照明器具などの使い方を見直したいと思います。

この一日をきっかけに
環境にも家計にも優しいエコライフを続けていきましょう！